

推陳出新※ — 深圳スタートアップ対談

創新階梯 1

グローバル企業たちが、中国から変わり出す

Startup Salad (創業サラダ)
大企業開放型創新合作總監

インヴィニオCHINA華南統括
Producer・Business Creator

李凱琳氏 × 小森可視

※推陳出新:「陳(ふる)きを推して新しきを出す」。
古いものの良い部分を残しつつ、新しいものを創出して
いく、という意味の四字熟語。

小森 新規事業創出に際して、御社が最も大切にされていることは、どのようなことでしょうか？

李 我々のキャッチフレーズは“エンパワー・チェンジメーカーズ”。変化を起こす人たちに力を与えることです。オープンイノベーションは企業にとって一種の概念改革です。先進技術も、ビジネスモデルによって活かされ方が変わりますし、良い商品



李凱琳 (Kailin Li) 氏
大企業開放型創新合作總監 /
Open Innovation Cooperation Director

スタートアップサラダ
2014年設立。世界中のイノベーション人材を集め、企業に根拠のないイノベーションサービスを提供するオープン型プラットフォーム。中国建設銀行、テンセント、ヒューレットパッカート、P&G、丸紅、任天堂、タイムラー、シヤネルなど、50以上の企業とパートナー連携し、62時間イノベーションハッカソン、イノベーションOS、イノベーショントレーニングなどのサービスを提供している。(公式HP: www.salad.co)

でも、現地に合わせてマーケティングが必要です。新規事業創出には非常に困難を伴います。アイデアを出して終わりではなく、いかに着地させるか。そこを重点に活動しています。

起業アイデアを磨き上げる

小森 スタートアップサラダという名前の由来は？

李 5年ほど前、創業者の趙が大手企業を飛び出して起業を試みた際、自分のアイデアが市場に受け入れられるか不安を抱えて、様々な場に飛び込んで行きました。その中で、熱い想いを持つ“イノベティブタレント”(創造性を持つ人材)が数多くいることに気づき、また一方で、メンターとなる業界リーダーたちにも出会ったのです。「若者の良質なアイデア」×「メンターの知恵」×「大企業」と、混ぜ合わせてイノベーションを起こす、というのが、“スタートアップサラダ”という社名の由来です。現在では、世界中に300人のオーガナイザーを始め、30万人のネットワークがあります。

最初の顧客となったのは、テンセント。イベント企画をお手伝いしていく中で、多くの企業にイノベーションのニーズがあることに気づきました。社内には、「プロジェクト運営部」、WeChatのミニプログラムなど、あらゆるオンラインプラットフォーム構築を担当する「商品部」、ハッカソンイベントの構成を検討する「商品開発部」などがあります。

専門家集団によるハッカソンと教育

小森 これまでどれくらいのハッカソンイベントを行いましたか？

李 これまで500回近いイベントを行ってきました。企業主催の場合、それぞれニーズが異なりますが、いず



K11グループとのプログラム。優勝賞金6万円に加え、K11に採用される可能性もあり

れもイベントを通して目標を達成しています。例えば、ある日本企業が商品を中国に投入する際、専門家たちを集めて中国市場にマッチしたマーケティングソリューションを検討したところ、最も優れたチームにおいては、当初立てたKPIの4倍の結果を得ることができました。また、とある携帯メーカーに対しては、5Gをテーマにエンジニア集団を集め、APP開発提案を行いました。短期間で優れた専門家集団を集められることが弊社の強みで、現在、このような活動においては中国でも非常に大きな影響力を持っています。

小森 深圳以外でも活動されていますか？

李 中国諸都市はもちろん、東京はじめ海外でも積極展開したいと考えています。非常に伝統的な巨大企業でも、我々を通してイノベーションの機運を高めたいと動き出しています。少なからぬグローバル企業において、イノベーション部門は中国から生まれています。社員自らが、目まぐるしい発展の渦中に身を置いているからでしょう。社員から出た様々なアイデアに対して、どうすれば効果が出るプロジェクトになるか、ハッカソンや研修を通して磨きをかけていきます。



タイムラー社とのイノベーション・インキュベータの様子

小森 日本企業についてはどのように感じますか？

李 一つのことを完成度高く作り上げる日本企業の職人魂は、我々が学ぶべき部分です。ただ、決断までの時間が非常に長く、階層が多い。これではタイミングを逃します。しかし、一旦日本企業が決めたら、その後はとても速いです。準備を十分にしているからでしょう。基本的に日系企業と一緒に作り出したものの効果は、大変高いと感じています。

イノベーションへの課題

小森 これまで何か失敗のような経験はありますか？

李 イベント参加者の大半である若者は社内での発言権がなく、彼らの上司の多くは聞いた途端、「我々には無理だ」「実務に影響が」と戻込み、過去の経験や習慣にこだわってチャンスを無駄にしてしまいます。やはり、留学や中国経験があるなど、オープンマインドな方がトップだと話が速いです。

小森 今、日本でも盛んにイノベーションと言われ、本社から漠然とした指示はあるものの、実際どこから何をして良いか現地法人は困ってたりします。

李 そのようなニーズに応える形で、我々の活動は大企業との協業へと発展していきました。企業の中にイノベーションOSを導入して、人事や物事の進め方、効果の出し方、担当者の選出などにも関わるようになりました。

変わることを恐れずに

小森 最後に、中国で奮



小森可視(こもりよしみ)

インヴィニオCHINA華南統括・
Producer・Business Creator

京都大学工学部電気電子工学科卒業後、Panasonic入社。入社後一貫してデバイスのBtoB営業を担当。日系大手総合電機メーカーの顧客窓口・事業部における海外顧客向けセールスエンジニア等の経験を経て、2014年より深圳駐在。Huawei顧客窓口として、中国人幹部との折衝等を担当。18年インヴィニオCHINA入社。19年深圳オフィス開設

闘している読者の皆様にメッセージをお願いします。

李 深圳は、都市自体がイノベティブな魂とエネルギーを持っています。今から一世代前の第1期オーナー始め、非常にイノベティブな人たちが溢れた都市です。夢の実現を求め、世界中から多くの若者が集まっています。色々な人と知り合う機会を持ち、変わることを恐れないで下さい。たくさんの方が深圳に来て下さることをお待ちしております。

INVENIO CHINA

Discover the Potential for Leadership
英必諾企業管理諮詢(上海)
(インヴィニオチャイナ)

1997年にマッキンゼーのOBによって設立。経営的視点から、人材育成、企業文化の変革や理念の浸透に取り組んでいる。研修やワークショップ、オフサイトミーティングの場を使い、組織・人材の潜在力をEduce=引き出して顕在化させる独自の手法に強みを持つ。

■上海市徐匯区天平路320弄25号(上海)
深圳市南山区海德三道162号 航天科技
広場B座4樓A20室04(ATLAS廣園)(深圳)
☎021-6437-0001
🌐http://www.invenio.cn/
✉infochina@invenio.jp